

平和・共生 個性・創造 自立・発展

沖縄国際大学

Okinawa International University



3月7日に竣工した全天候型多目的グラウンド（関連記事P15）

学報第98号(2012.4.2発行)

(CONTENTS)

第41回入学式／第16回大学院入学式

学長式辞	P02
大学院研究科長メッセージ	P02
学部長メッセージ	P03
学科長メッセージ	P03
新理事長・学長、副学長、常務理事に聞く	P04
新部長に聞く	P04

沖縄国際大学創立40周年を迎える

沖縄国際大学創立40周年記念式典盛大に挙る	P05
-----------------------	-----

学生部だより

学生部長メッセージ	P06
平成23年度体育系サークル実績	P06
平成23年度文化系サークル実績	P07
サークルボイス（体育系）	P07
サークルボイス（文化系）	P07
特待奨学生メッセージ	P08
体育会：平成22年度決算書／平成23年度予算書	P08
文化会：平成22年度決算書／平成23年度予算書	P08
平成23年度就職状況	P09
就職活動体験記	P09
平成24年度キャリア支援年間講座等スケジュール	P10
外国語センター	P10

国外留学／海外語学・文化セミナー／国外協定校短期派遣留学	P11
国内留学／県外単位互換制度	P11

第40回卒業式／第14回大学院修了式

学生表彰	P12
卒業生からのメッセージ	P13
平成23年度卒業生数・修了生数	P13
第41回入学式における学生表彰	P14
学生インタビュー	P14
第35回宜野湾市交通安全キャンペーン市内一周駅伝大会に参加	P14
4年間を振り返って—少子化への対応—	P15
沖縄県内初の人工芝施工多目的グラウンド完成	P15
臨床心理士資格試験に10名が合格	P15

学内人事

退職教職員紹介／退職・退任	P16
採用教職員紹介／併任等・昇任・配置換	P17
創立40周年記念に伴う寄付者一覧	P17
平成24年度事業計画	P18
平成24年度予算（概要）	P19
寄付者一覧	P20
2012（平成24）年度入学者選抜試験結果	P20
2012（平成24）年度大学院入学試験結果	P20

入学式 / 大学院入学式



学長
大城保
(おおしろ たもつ)

学長式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。全国に数ある大学の中から、沖縄国際大学を選択し、勉学に励むことを決めていただいたことに、感謝いたします。ありがとうございます。本学関係者一同、皆さんを心から歓迎いたします。これから学部4年間、大学院2年間、皆さんの成長と発展に大きな期待を寄せています。「努力に勝る天才無し」です。精一杯頑張ってください。

多くの物事の中から一つを選択する、つまり意思決定をすることは大きな決断を必要とします。人生の分かれ道における進路の決定は、特に重要であります。大学へ進学するか、専門学校へ進学するか、それとも就職するか、悩んだ人、あまり悩まなかった人、人それぞれでありましょうが、皆さんは専門にする学部学科を選択して、大学進学を決めました。大学生活の過ごし方は、大学卒業時の進路決定において、大きな意味を持ちます。私が担当した経済学科一年次の必修科目で、4月に「私にとって最も大事なものは？宝物とは？富とは？何か」について、7月に「高校生活と大学生活の違いについて、そして、これからの大学生活について」書いてもらいました。高校と大学の大きな違いのひとつは「大学では自由である」ことです。自由であるということは、その結果の責任は全て自分にあります。皆さんも、早いうちに自分の考えをしっかりとまとめて、大学生活の指針にしてください。

大学院生の皆さんは、社会の諸問題をしっかりと読み解くために、分析能力を高め専門性を深めて、修士論文をしっかりと仕上げてください。皆さんの研究に大いに期待しています。

さて、平成23年の世相を表す漢字一文字は「絆(きずな)」でした。「継(きずな)」とも書きます。「世の中をつなぐ糸」が「きずな」であります。沖縄国際大学は「地域に根ざし、世界に開かれた大学」を目指して発展してまいりました。今年2月25日に創立40周年を迎え、卒業生も4万5000人を超えました。新入生を迎えて、更なる発展のために「新たな継(絆)づくり」に努めて参ります。沖縄国際大学は「地域・沖縄を動かし、グローバル・国際につながる人材を育成する大学」、「世の中をつなぐ人材を育成する大学」を目指します。

世の中をつなぐ上で、最も必要不可欠な能力はコミュニケーション能力です。専門的な教養を身につけて、受信力と発信力を磨いていくことが大切です。本学には県内外各地域から多くの学生が集まっています。国内外に多くの協定校があります。皆さんが自主・自律・自発的なコミュニケーション能力の向上に努め、世の中をつなぐ人材に成長していくことを期待します。そのために、本学教職員一同、皆さんの努力を支援していくことをお約束いたします。

結びに、ご出席のご父母ご家族の皆様のご喜び一杯のお顔を拝見いたしますと、心からお祝いを申し上げますという気持ちと共に、私どもの責任の重さを痛感いたします。新入生の皆さんのより一層の成長と発展のために、ご父母ご家族の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます、式辞といたします。

大学院研究科長メッセージ



地域文化研究科長
保良昌徳
(やすら しょうとく)

共に「使命」と「責任」の再認識を

大学は、その国や社会の最高学府として、社会発展に必要な人材の養成や新しい知見の創造、あるいは新しい価値の創造という点でも重要な役割と責任を担っています。大学を構成するのは教職員だけでなく、全ての学生も含まれています。新しい門出にあたり、喜びや期待と同時に、沖縄のみならず広く世界・人類に対する自らの使命と責任を再認識し、協力して学究に取り組むことを期待します。



地域産業研究科長
佐久本朝一
(さくもと ともかず)

斬新な環境を創造する企業者精神を磨く

地域産業研究科に入学された皆様には、4年間の大学生活に満足することなく、これから本大学院で研鑽しようとする志に厚く敬意を表します。本研究科では、高度に情報化されたグローバル経済下で、商業、経済、経営、会計および情報といった各専門分野からインターナショナルな分析能力の育成を目指しており、その方法として、これからの修士課程で斬新な環境を創造する企業者精神を磨くことを重要視しています。その結果として皆様将来、企業経営者や研究員、教員、公務員、税理士あるいは中小企業診断士など地域社会のスペシャリストとして、活躍できるよう期待しています。



法学研究科長
脇阪明紀
(わきさか あきのり)

学問的発想と創造力の修得

大学院において、多くの法律知識の吸収に努力すべきは当然のことですが、それだけでは知的創造物としての修士論文は作成できません。そこには、学問的発想の能力が伴っていないと成り立たないものと考えられます。このような発想の能力とそれに導かれる学問的創造力は、優れた文学作品等を読むことによって養われる教養、すなわち文章力や思考力などの産物であると思われま。法学研究科に入学される皆さんは、法学の文献の精読にのみとどまることなく、自己の教養を深めるために文学作品を読むことをお勧めします。

学部長メッセージ



法学部長
前津榮健
(まえつ えいけん)

夢実現に向け、勉学に励もう

入学おめでとうございます。社会は今めまぐるしく変動しています。社会のルールである法律や政治・行政の仕組みをしっかり習得すると共に、基本的なマナーを身に付けてください。これからの4年間、将来の夢の実現に向け、友や先生方ともおおいに語り、学生の本分を忘れることなく真剣に勉学に励むことを期待します。



経済学部長
名城敏
(なしろ さとし)

悔いのない学生生活を送ろう

入学おめでとうございます。大学にて知恵・知識を学び、資格等を取ることも大切ですが、県内外および国外出身の学生と接して異なる文化を学ぶことも大切です。大学で何を学ぶのか何が出来るかを考えながら悔いのない学生生活を送ってください。大学は人脈を広げる場でもあります。将来の目標達成のために多くの人々と接し、社会でたくましく生きる術を学んで下さい。



産業情報学部長
宮森正樹
(みやもり まさき)

主体的に生きる

入学おめでとうございます。これから新しい4年間が始まります。みなさんはこれまで6年間、3年間、3年間と勉学を続けてきました。そしてついに社会に旅立つ一歩手前の大学にたどり着いたのです。今、大切なことは主体的に生きることです。大学は、言われて何かをやることはありません。自分から将来を見据えて、それに向けて自主的に動き、学び、吸収するところです。どんな荒波にさらされても乗り越えられる力と主体性をしっかりと身につけてください。産業情報学部全体で応援いたします。



総合文化学部長
葛綿正一
(くすわた まさかず)

外国語を勉強しよう！

大学に入った、その日から外国語を勉強しましょう。一日に一つの単語、二つの単語、三つの単語。外国語を通して新しい世界が見えてくるはずです。そして新しい友達ができるにちがいありません。

学科長メッセージ



法医学科長
比屋定泰治
(ひやじょう やすはる)

充実した大学生活を

大学生活は始まったばかり！と思っているかもしれませんが、4年間は案外あっという間です。まずは、クラス、部活、サークルなどで積極的に知り合いを作りましょう。その中から気の合う仲間を見つけて、充実した楽しい大学生活を送ってください。



産業情報学科長
又吉光邦
(またよし みつくに)

楽しみながらも社会へ向けて

入学、おめでとうございます。大学生時代は、社会人として自立するために必要ないろいろなものを培う場所です。多くの可能性の中から自分で取捨選択して築き上げていく場となります。限られた時間の中で、自分自身が最も輝けるように、そんな職場で働けるように自身を育ててください。教職員がサポートします。



地域行政学学科長
上江洲純子
(うえず じゅんこ)

より高くより遠くへ！

ご入学おめでとうございます。大学で過ごす4年間は社会へ飛び立つ前の大事な助走期間です。多くの仲間達と出会い刺激し合いながら頂を目指してください。良き師に学んで知の扉を開ける喜びを味わってください。みなさんが新たな自分とともに、より高くより遠くへ羽ばたいていくその日を楽しみにしています。



日本文化学学科長
西岡敏
(にしおか さとし)

「知る」喜びを！

入学、おめでとうございます。この世界には未知のものがたくさんあります。未知のものを「知る」ことはまさに喜びです。大学ではそれができます。様々なことに関心を抱き、「知る」ことで、自分の生き方を深く見つめてください。



経済学学科長
宮城和宏
(みやぎ かずひろ)

様々なことにチャレンジを！

大学の4年間はあっという間です。のんびり構えていると気が付いたら卒業ということになりかねません。「思い立ったが吉日」、後で後悔しないよう4年間の目標・計画を立て、今すぐ実行しましょう。様々なことにチャレンジし、能力的にも人間的にも大きく成長されることを期待しております。



英米言語文化学学科長
素民喜琢磨
(すみんき たくま)

英語の環境を作りましょう

皆さんは英語を身につけたいという夢を持っているでしょう。英語の環境を作るには、友達と英語で話したり、英語の映画を見たり、そして、何より英語を読む習慣を作ることです。自分のレベルに合わせて読む可能性が広がるグレイデッド・リーダーズは大変お勧めです。図書館のB2階/書庫3一般図書(洋書)837.7/OXF/にあります。



地域環境政策学学科長
小川護
(おがわ まもる)

有意義な大学生活を！

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。勉強はもちろんのこと、サークル活動、友人との出会いを大事にして、有意義な大学生活を送ってください。そして、卒業後には沖縄大で学んだことをバックボーンとして、社会で活躍されることを願っています。



社会文化学学科長
澤田佳世
(さわだ かよ)

“知的格闘”を楽しめ!!

“自ら問い、自ら学ぶ”、大学は自由な学問の場です。たくさんの本を読み、様々な人間と交わり、多様性と異質性を楽しむ“温かい知性”を育みましょう。“知への感性”と“未知への勇気”が、あなたの世界を広げます。



企業システム学学科長
木下和久
(きのした かずひさ)

失敗してもいい。まずやってみよう！

大学4年間、特に前半の2年間をどう過ごすかは、人生でとても重要です。目標や夢はなくてもいい。大切なのはまずやってみること。一歩でいいから進むこと。やりたいこと・やれること・やるべきことを少しでいいから続けること。楽しい充実した4年間を。



人間福祉学学科長
知名孝
(ちな たかし)

Stay hungry, stay foolish

新大学生諸君、入学おめでとう。あなたがたの「知ること」、「観ること」、「味わうこと」、「感じること」が確実に変化する4年間です。自分の変化を感じとり、あなたらしい豊かな大学生活をともにつくっていきましょう。

理事長・学長 大城 保 (おおしろ たもつ)



大学の更なる発展へ、新たな一步を踏み出す

本学は2012年2月に創立40周年を迎えました。創立以来、建学の精神「真の自由と自治の確立」に則り「地域に根ざし世界に開かれた大学」を目指して学生、教員そして事務職員の協働によって発展し「自主・自立」の大学を実現してきました。40周年を迎えた今、本学は更なる発展に向けて新たな一步を踏み出します。「沖繩に根ざし支えられてきた大学」から「沖繩を支え動かしていく大学へ」そして「世界に開かれた大学」から積極的に「グローバル・国際的につながる大学へ」発展することを目指します。沖繩国際大学は「沖繩を動かし国際的につながる人材の育成」を目指します。教育・学生サービスや研究力の向上、地域連携・地域貢献の強化、語学力向上と国際交流の強

化に取り組んでいきます。名実ともに「沖繩国際大学」へ発展することを目指します。学生、教員、事務職員そして社会の協働があれば実現できるものと確信します。

- 【略 歴】
- 1948年 沖繩県豊見城市生まれ
 - 1971年 琉球大学法文学部経済学科卒業
 - 1974年 広島大学大学院経済学研究科修了(修士)
 - 1975年 沖繩国際大学短大経済科助手に採用(～現在)
 - 1988年 同上教授
 - 1998年 大学院地域産業研究科教授を兼任(～現在)
 - 2000年 学長
 - 2006年 経済学部長(～2010.3)
 - 2010年 大学院地域産業研究科長(～2012.3)

副学長 狩俣 恵一 (かりまた けいいち)



地域交流・国際交流をとおりて本学の活性化を図る

沖繩の地域に根ざし、国際社会に開かれた沖繩国際大学として力強く前進するには、学生と教職員がそれぞれの立場で活動しやすい環境を整えることが肝要です。副学長としての私の責務は、大城保学長を補佐することで、地域交流と国際交流を活性化して学外からの刺激を注入し、学生たちが、学ぶ喜びに満ち溢れた大学へと力強く前進させることです。

大学が地域社会や国際社会に翼を広げることは、「創意工夫する学びの場」を作り出すことであり、また「相互理解によって、人と人との信頼関係を築く場」を学生たちに提供することでもあります。

そして、その目標を達成するためには、地域と沖繩国際大学を結ぶ人材の発掘と、外からはっきりとわかる国際交流の在り方を構築することだと考えています。そのためには明るい雰囲気と前向きな姿勢が大切だと思います。いつも笑顔の大城保学長のもと、皆さんとともに、より充実した大学作りを目指したいと思います。

- 【略 歴】
- 1951年 沖繩県竹富町生まれ
 - 1982年 国学院女子短期大学専任講師
同短期大学助教授、教授・副学長
 - 2000年 博士(民俗学)
 - 2002年 沖繩国際大学総合文化学部教授
 - 2009年 沖繩国際大学南島文化研究所所長

常務理事 新垣 勝弘 (あらかき かつひろ)



大学のブランド化とは何か

現在の日本社会は「少子化」「大学全入時代」に突入し、地方の大学では、学部の縮小や経営難に陥る大学も出てきており、大学における社会環境は年々厳しさを増しています。グローバル社会で、企業が競争力をつけ生き残っていくためには、自社製品に付加価値を付ける必要があり、そのためには自社製品のブランド化を進めることが重要で

です。大学の教育研究活動は非営利のビジネスであり、営利企業に比べて収入の増加は極めて低いと言えます。大学の事業は教育・研究にあるので、競争力の源泉は、教職員、特に教員の教育力及び研究力にあります。教育・研究事業の中でいかに、教員の教育力の向上及び大学の研究機関等に高いブランド価値を作るかは、大学経営における重要な経営戦略でもあります。大学経営の戦略は、教育事業における高

度な人材の養成と輩出及び研究事業における国際的水準の研究成果の達成による高い国際的評価の獲得が大きな目標となります。教育・研究事業を資金的に支える経常収支(消費支出)均衡と将来事業の確保を確実なものにし、大学運営につとめていきたいと考えています。

- 【略 歴】
- 1951年 沖繩県那覇市に生まれ
 - 1974年 拓殖大学商学部卒業
 - 1976年 拓殖大学大学院国際研究科修了
 - 1985年 短期大学部経済科専任教員として採用
 - 1996年 商経学部経済学科へ配置換え
 - 2007年 国際交流センター所長(～2009年)
 - 2011年 沖繩経済環境研究所所長

新部館長に聞く



学生部長
総合文化学部 教授

山入 端津 由
(やまのは つよし)

自己を成長させる環境

成長を望まない人はいません。現代の心理学の能動モデルは、人をそのようにとらえています。人は自分に与えられた環境を積極的に使って自分を成長させようとする。履修方法で悩めば、教師や学務課の専門家に聞けば解決へ近づきます。健康上の悩みは健康相談室を訪ねると医師や保健師が助けてくれます。就職相談だと、キャリア支援課の専門家が手伝ってくれます。心の相談は、学生相談室に配置されている臨床心理士やカウンセラーがお手伝いします。知的好奇心を満たすには、研究者である教員や図書館、パソコンを使えばよいでしょう。自己を成長させる環境が本学に準備されているので、使わない手はないでしょう。



教務部長
経済学部 教授

新垣 武
(あらかき たけし)

インターネット・グローバル化時代における教育

大学入学前、そして大学在学中に身に付ける事としては実社会において多くの場面で役立つ実践的な知識、理解力、判断力、コミュニケーション力等が大きな部分を占めていると思われます。しかしながら、近年のIT技術の爆発的な発展は情報網、情報量、情報伝達速度等を著しく向上させて世界のあらゆる分野で急激な変革をもたらしています。そのような社会的状況の中で学ぶべき事も年々変化して来ているように見えます。また、現在多方面において急速に進むグローバル化の波の中でこれからは卒業後の進路も含めて学生を取り巻く社会環境も大きく変化すると考えられます。そのような状況の中で大学が提供出来る教育内容や手法について多くの人と共に考えて行きたいと思っています。



図書館長
産業情報学部 教授

原田 優也
(はらだ ゆうや)

自分と出会う場所

図書館とは「自分と出会う場所」だと思います。本学図書館は、40万冊以上の様々な分野の専門図書、貴重な資料、報告書等を持ち、教養豊かな図書館です。自分の興味に合った素敵な本との出会いが、新しい自分へ成長させてくれることでしょうか。あなたは図書館でどのくらい素敵な本と出会いましたか。図書館はあなたにとってどのような空間ですか。

より良い図書館にするために、学生・教員・職員の皆さんの協力が必要です。図書館のサービスに関する意見・コメント・アイデア等がありましたら、気軽にお知らせください。利用者の声について真剣に考え、サービス向上を実現していきたいと思っています。図書館の利用者の方々に満足していただけるよう、また、図書館の利用を通して利用者一人ひとりの可能性が広がるよう、取り組みたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

沖繩国際大学創立40周年を迎える

—沖繩国際大学創立40周年記念式典盛大に挙行—

平成24年2月25日(土)午後2時より、本学講堂兼体育館にて、「沖繩国際大学 創立40周年記念式典・祝賀会」が挙行されました。記念式典には本学関係者や国内外の協定校、県内外の教育関係者など280名の方々が出席されました。



富川盛武学長は「本日、本学は多くの皆々様に支えられて、創立40周年記念式典を迎えることになりました。この喜びを皆様と共有するとともに日頃のご厚情に深甚なる感謝の意を表します。卒業生は約4万4千人に達し、地域の金融、流通、サービス業、教員、公務員等の分野でリーダーとして活躍しています。いわゆる地域の屋台骨を担う人材が多く輩出され、沖繩国際大学なくしては沖繩の社会は成り立たないと評されるに至っております。沖繩の発展に貢献するために、人間力を基に知識とコミュニケーション能力を身につけ、ローカル及びグローバルの複眼的視点から、事象、現象を理解し、問題解決ができ、時代を切り開ける人材を育成していきます。今後とも、学生中心主義に立ち、「人間力」と「教育の質の向上」を通じて、人材育成そして地域の発展に尽くしていくことをお誓い申し上げ、ご挨拶と致します。」と述べました。

式典では、日本私立学校振興・共済事業団理事長の河田悌一氏、日本私立大学協会事務局長の小出秀文氏、沖繩県知事の仲井眞弘多氏より祝辞が述べられました。



富川 盛武
理事長・学長



河田 悌一
日本私立学校振興・
共済事業団理事長
(祝辞)



小出 秀文
日本私立大学協会事務局長
(祝辞)



仲井眞 弘多
沖繩県知事
(祝辞)

記念品贈呈

本学の教学整備並びに奨学基金造成など多大な貢献を賜った個人並びに企業の方に感謝状を贈呈しました。感謝状は、宜野湾区自治会長 仲村清氏、東村村長 伊集盛久氏、本学元理事の呉屋秀信氏及び宮良長辰氏、本学理事の前田功氏、本学前理事の岸本恵常氏、金秀グループ会長 呉屋守将氏、沖繩国際大学後援会会長 池田光男氏、沖繩国際大学校友会会長 上原秀雄氏に贈られました。

記念品贈呈を受けて、岸本恵常氏から、「母校沖繩国際大学創立40周年、誠にありがとうございます。この記念すべき節目の期に、荣誉ある賞を賜り光栄の至りであります。本日授かった感謝状に込められたその意をありがたくお受けし、厚くお礼を申し上げます。これからも校友の一人として本学の行く末を見守りその発展に陰に陽に寄与できるよう努める所存でございます。本学の限りない発展を祈念申し上げ、お礼と言葉とさせていただきます」とお礼の言葉を頂きました。



感謝状贈呈

祝賀会

式典後の祝賀会では、来賓の祝辞や国内外の協定校への記念品贈呈など、盛大に行われました。祝賀芸能では、琉球芸能文学研究会による琉球舞踊、空手部による空手演武、琉球風車によるエイサー、本学卒業生の上江洲清作氏によるミニライブが行われ、祝賀会は一層盛り上がりしました。



学生部長メッセージ

学生部長
山入端 津由
(やまのは つよし)



新入生のみな様、ご入学おめでとうございます。学生生活をサポートする学生部を代表し、みな様へ歓迎のメッセージをお届けします。苦しい受験期を脱し、みな様は夢と希望を抱いて本学へ入学されたと思います。人生の節目である大学入学の感動は、何十年経っても忘れることがありません。

ところで、大学入学は、みな様にとって、「自分探し」という青年期の旅への出で立ちでもあります。みな様は、キャンパスライフにおいて、仲間の喜びや悲しみに共感し、援助の手をさしのべる自分に気づきます。あるいは、仲間の暖かい手が自分に差しのべられたことに感動するでしょう。他方、能力や性格や容姿などを仲間と比べて優越感に浸ったり、落ち込み、悩んだりするでしょう。また、友人の成果を賞賛する自分と、これを妬む自分に気づき、自己嫌悪感に陥るかもしれません。自己矛盾の感情や思考をどのように納めればよいのか。どのような自分になりたいのか。どういう人にはなりたくないのか。みな様の自分探しの旅は4年間続きます。

自分を見つめる自分がいて、この自分といつも歩みを共にしながら、これまでにない体験へ挑戦するみな様にとって、不安は当然に起こります。でも、不安を解消するための強力な装置が本学にはあります。本学は、「教員中心」の大学から「学生中心」の大学へ変わりました。みな様にとって「面倒見のいい大学」を目指して教職員が日々努力しています。

みな様の成長・発達を援助するために、充実した3層の支援体制が準備されています。

日常の教職員や学生との交流を通して行われる「日常学生支援」が

1つです。ゼミ活動やアカデミック・アドバイザーシステムなど、「制度化された学生支援」が2つ目です。3つ目は、学習・キャリア・保健管理・学生悩み相談などの「専門的學生支援」です。われわれは、3層がみな様にとって使い勝手のある支援システムとなるように努力を続けております。

最後に、学生の語る体験を紹介します。入学期、彼女は、大学の授業についていけるだろうか、4年間続けられるだろうかと不安だった。入学式で沢山の資料を渡されたが、冷静に読もうと思う気にはなれなかった。どんな学生生活を送ろうかなんてほとんどイメージが湧かなかった。

いま、4年まで来た。大学生活で今が一番意欲的であると自分は思う。それは、思った以上に学ぶことができたと思っているからだ。専門書以外に、近接領域の専門書を読むと、もっと幅広く学びたいと思う。読みたい本を自分で選んで読むことに喜びさえ感じる。自分について考え、自分の考えがみんなに受け入れられるか、ゼミでの討議がおもしろい。先生に質問したら自分が考えなかった答えが返ってくると、ますます知的な好奇心が広がる。自分が成長するのが一番の楽しみであり、うれしいことだ。先生は、大人というより研究者だという気持ちで接すると、学ぶことが楽しみになるし、自分の成長へとつながる。

学生の語りのように、本学はみな様にとって自分を成長させる上で使い勝手のある多様なリソースが準備された場になるでしょう。みな様のご成長を祈ります。

平成23年度 体育系サークルの主な実績

1	陸上部	第81回九州学生陸上競技選手権大会:1500m 4位(上原光司) 第39回九州学生陸上競技選手権大会:1500m 3位(上原光司)、3000mSC 3位(今手亮) 第11回九州学生女子駅伝対抗選手権大会:3位 第4回沖縄県男子総合駅伝競走大会:優勝(3連覇)
2	男子バレーボール部	平成23年度九州大学秋季バレーボール男子リーグ本大会:2位(2部)
3	女子バレーボール部	九州女子春季バレーボールリーグ鹿児島大会:5位(4部)
4	ビーチバレー部	ビーチバレージャパンカレッジ2011:8位
5	軟式野球部	第23年度沖縄県大学軟式春季リーグ戦:優勝 第23年度沖縄県大学軟式秋季リーグ戦:優勝 第34回全日本大学軟式野球選手権大会:ベスト8
6	男子ハンドボール部	第20回九州学生ハンドボールリーグ春季大会:優勝(2部) ※1部昇格 第20回九州学生ハンドボールリーグ秋季大会:6位(1部)
7	女子ハンドボール部	第20回九州学生ハンドボールリーグ秋季大会:3位(1部)
8	男子バスケットボール部	第17回宜野湾市バスケットボールフェスティバル大会:優勝 平成23年度冬季学生リーグ:優勝
9	卓球部	第62回全九州学生春季選手権大会:女子団体優勝(2部) ※1部昇格 第62回全九州学生秋季選手権大会:女子団体3位(1部)、男子団体5位(2部) 女子シングルス3位(津嘉山優子)、女子ダブルス3位(津嘉山優子・山根由莉)
10	バドミントン部	第52回沖縄県総合ダブルスバドミントン選手権大会:男子ベスト8(高江洲・大城)
11	硬式テニス部	平成23年度春季学生リーグ(男子):優勝 平成23年度秋季学生リーグ(男子):準優勝 平成23年度全日本大学対抗テニス王座決定試合(九州予選):2部残留
12	剣道部	第49回富川杯剣道選手権大会:準優勝(越間雄飛)
13	空手道部	第52回全九州学生空手道選手権大会(個人形の部):優勝(喜友名諒) 準優勝(上村拓也) 3位(金城新・幸良英佑) 第55回全日本学生空手道選手権大会(個人形の部):優勝(喜友名諒)
14	弓道部	第49回九州学生弓道選手権大会:女子団体(予選敗退)、男子個人(吉村直樹・玉城秀明:決勝リーグ敗退)
15	なぎなた	第50回全日本学生なぎなた選手権大会:個人戦の部ベスト16(大嶺夏季)
16	自転車競技部	ツールド沖縄(市民レース50kmアンダー29):4位(高良和郎)

平成23年度 文化系サークルの主な実績

1	放送研究部	第28回NHK全国大学放送コンテスト:朗読部門1位(久場川愛莉) 第28回NHK全国大学放送コンテスト:映像番組部門3位(平良一紘)
2	吹奏楽部	第51回沖縄県吹奏楽コンクール金賞 第36回沖縄県アンサンブルコンテスト:金賞(打楽器四重奏)、銀賞(サクソフォン四重奏) 第37回九州アンサンブルコンテスト金賞(打楽器四重奏)
3	中東芸能クラブ	東日本大震災復興支援チャリティーイベント参加
4	OSSF	BUZZSTYLE vol.6裏BUZZ沖縄予選:3on3 FREE STYLE BATTLE 優勝
5	鼓舞楽団浦風	結成十周年記念公演:「結」

サークルボイス

体育系コメント

野球を通して実感したこと

経済学部 地域環境政策学科2年次
八重山農林高校出身
多宇 雄飛(たう ゆうひ)

私達、沖縄国際大学軟式野球部は、1年生13名、3年生10名の計23名で活動しています。練習は週3回で、朝の練習が2回、休日の練習が1回を基本として取り組んでいます。日頃の練習では、真剣に取り組むのはもちろん、野球を楽しむことをモットーに頑張っています。

また、野球をする以前に、毎日の生活態度や挨拶、整理整頓など、当たり前のことを「当たり前にする」ということを日頃から重視しています。

私達は、昨年の11月に熊本県で開催されました第34回全日本大学軟式野球選手権大会に初出場することができ、ベスト8という成績を収めることができました。今大会で、私達の実力が十分に通用することを知る事ができ、今後、より一層、日々の練習に力を入れていきたいと思っています。

全国制覇を目標に、今後も努力していきたいと思えます。

また、今大会では、指導者や私達の両親をはじめ、周りの方々の支えがあり、野球ができるということのありがたさや野球が出来ることの幸せを感じる事ができました。一人一人が感謝の心を持つ大切さを改めて実感することができました。

今回の経験を通して、チームメイトや指導者、周りの方々に支えられ野球が出来ること、有り難みを日々感じながら楽しく、これからの部活動を青春していきたいです。



文化系コメント

創作エイサーサークル 鼓舞楽団浦風

総合文学部 社会文化学科4年次
那覇高校出身
瀬長 彩(せなが あや)

私たち鼓舞楽団浦風は創作エイサーサークルとして活動しています。

伝統的なエイサーとは異なり、「笑顔・元気・学生らしさ」をモットーに自分たちですべて振り付けをおこなっています。

主な活動として日々の練習だけでなく、県内各地の祭やイベントの参加、修学旅行生歓迎演舞としてエイサー演舞の披露やエイサー指導などをおこなっています。昨年は高校生や若い世代に芸能を身近に感じてもらえるよう、沖国大の芸能サークル「琉球風車」「琉球芸能文学研究会」と合同公演をおこない、3月には浦風自主企画公演もおこないました。

浦風メンバーは大学入学後にエイサーを始めたばかりで、県外出身者も一緒に沖縄の芸能に携わっています！これからも沖縄の芸能文化を守りながらも、さらなる発展を目指して頑張ります。



特待奨学生メッセージ



多くの人に支えられて

総合文化学部 社会文化学科卒業
那覇高校出身
小橋川 ゆうな(こはしかわ ゆうな)

大学に入学した当初、私は「何でも自分です」という目標を立てて日々を過ごしていました。しかし、大学の講義は専門的な内容が多く課題も多かった為、自分一人で頑張る事に不安を感じていました。また、私は教員免許など複数の資格取得も目指していましたが、全ての資格をきちんと取得できるのか自信がありませんでした。

しかし、家族や大学で出会った多くの友人・先生方の存在が、勉強の面だけでなく様々なことに取り組む時の心の支えとなり、何に対しても一生懸命取り組むことができました。そして、4年間の努力が認められ特待奨学金をいただくことができました。これからも周囲の人への感謝を忘れず、様々なことに挑戦していきたいと思っています。



大学生活を振り返って

総合文化学部 人間福祉学科卒業
沖縄尚学高校出身
屋 我 和 泉(やが いずみ)

4年間の大学生活はあっという間でした。大学では自分自身にやろうという意志があれば、色々なことに挑戦し学び経験することができます。私は講義履修はもちろんのこと、ボランティアやアルバイト、その他のこともその時自分にできる事を精一杯頑張るように努めました。大学生活を有意義に過ごせるかどうかは自分の意識の持ち方次第だと思いますが、特待奨学金という経済的支援制度は意欲的に大学生活を過ごすうえで力強い後押しとなりました。私はその様な制度があるということや私自身がその機会に恵まれた事に本当に感謝しています。今後も大学で学んだ事や経験した事を活かしていけるように精一杯頑張りたいと思います。

ありがとうございました。

平成22年度 収支決算報告

沖縄国際大学体育会

■平成22年度決算書(単位:円)
自平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	15,036,500	事業費	16,264,833
寄付金	0	登録費及び参加料	0
雑収入	1,186	運営費	543,570
前年度繰越金	3,466,722	予備費	0
		次年度繰越金	1,696,005
合計	18,504,408	合計	18,504,408

■平成23年度予算書(単位:円)
自平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	15,571,000	事業費	16,491,000
寄付金	1,000	登録費及び参加料	1,000
雑収入	1,000	運営費	592,000
前年度繰越金	1,696,005	予備費	185,005
合計	17,269,005	合計	17,269,005

沖縄国際大学体育会は、体育運動を通じて学生・教員及び職員の心身を練磨し人格の向上を図るとともに、スポーツマンシップを養成し、あわせて会員相互の親睦と本学の発展に寄与することを目的としています。

沖縄国際大学文化会

■平成22年度決算書(単位:円)
自平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	12,050,000	事業費	9,651,519
寄付金	0	登録費及び参加料	1,967,061
雑収入	3,263	運営費	270,964
前年度繰越金	11,284,706	予備費	0
		次年度繰越金	11,448,425
合計	23,337,969	合計	23,337,969

■平成23年度予算書(単位:円)
自平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	12,473,000	事業費	18,881,000
寄付金	1,000	登録費及び参加料	2,500,000
雑収入	3,000	運営費	355,000
前年度繰越金	11,448,425	予備費	2,189,425
合計	23,925,425	合計	23,925,425

沖縄国際大学文化会は、文化活動を通じて学生及び職員の人格的陶冶を図り、文化活動を継承・創造する人材を育成し、文化活動による社会貢献の実践を促進すると同時に、会員相互の親睦と本学の発展に寄与することを目的としています。

平成23年度 就職状況

就職先を決める事は、皆さんの卒業後の人生を左右する大切な選択です。しかし『就職活動は初めての体験』、どんな風に進めていいのかわからない不安や迷いがあるのは当然です。キャリア支援課では、就職ガイダンスをはじめ、履歴書添削、模擬面接、各採用試験対策講座、就職内定者報告会など様々な就職行事を企画し、皆さんの就職活動をサポートしています。まずは、行動する事が第一です。悩んでいないで、気軽にキャリア支援課に足を運んでください。

就職サポート

就職資料室の充実

県内外企業からの求人票、企業個別ファイル、就職情報誌、公務員関係試験要項、大学院学生募集要項、その他就職に関する諸資料を取り揃えています。企業研究に大いに活用してください！！

「Live Campus 就職システム」による迅速な情報提供

就職システムでは就職情報、就職行事、企業セミナー日程等の検索が可能です。年間500件を超える求人や約3,000件の企業データがいつでも入手でき、各就職ナビへの接続も容易で会社説明会へのエントリーや最新の就職情報収集に活用されています。学内外どこからでもアクセスでき、希望者には就職情報のメール配信も行っています。

企業説明会、公務員・教員採用試験制度説明会の開催

学内において、各企業の説明会、国家公務員、教員採用試験制度説明会を行っています。2011年度は、企業説明会を42回、公務員・教員採用試験制度説明会を4回開催しました。(2012年2月現在)

就職模擬試験、適性検査の実施

就職模擬試験、公務員採用模擬試験、その他適性検査を行っています。2012年度の主な予定は次のとおりです。

- ① SPI能力検査 ②就職模擬試験(一般教養) ③国家公務員一般職採用模擬試験
- ④ 地方公務員採用模擬試験(行政職、警察官、消防官) ⑤教員採用模擬試験

インターンシップ

夏期休業期間を利用して、企業や官公庁などでインターンシップを実施しています。2011年度は、182名の学生が実習に参加し、就業意識形成や職業に対する理解を深める貴重な体験をしました。

就職活動体験記



YKK AP株式会社 内定

経済学部 地域環境政策学科卒業
東京都立駒場高校出身

奥原 匡史(おくはら ただし)

就職活動において、『行動力』『アドバイス』『自分自身に素直にしていること』の3つが必要だと感じました。私は大学3年次の10月から就職活動に本腰を入れました。このきっかけはキャリア支援課への訪問と、就職相談をされている先生のアドバイスです。

10月から2月初旬までは県内外問わず可能な限り多くの企業説明会に足を運び、自ら行動して興味のある業界や職種を絞りこむと同時に、面接練習などの準備を徹底しました。2月中旬から4月後半までは東京に渡り、就職活動を続けました。

前半では面接で「良いことを言おう」と力んでしまい、ことごとく失敗しました。

このピンチを乗り越えることができたのは、同じく東京で就職活動をしてきた仲間と、現地の就職サポーターからのアドバイスです。行き詰った際には人から意見を求めることが必要不可欠だと実感しました。

後半では面接内容を自分と話して楽しく思えるように転換することで、自分自身に素直にいられたことが内定を掴めた要因だと感じます。

就職活動は決して楽ではありませんが、多くの人から刺激を受け、自己成長の楽しさを味わえる貴重な機会です。

ぜひ皆さんも「やらない後悔」をしないうちに全力で就職活動に向き合ってください！



株式会社琉球銀行 内定

産業情報学部 企業システム学科卒業
那覇高校出身

當銘 彩加(とうめ あやか)

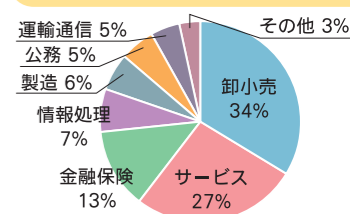
私の大学生活4年間の中で最も充実していたのは、就職活動を行っていた時だと思います。

私は3年次のインターンシップをきっかけに、就職活動を本格的に始めました。初めの頃はやりたいことが分からず不安ばかりでした。しかし、企業説明会やキャリア支援課が主催する講演会に積極的に参加し、たくさんの社会人から話を聞くうちに、何をやりたいのかが分かってきました。春休みも毎日キャリア支援課に通い情報を集め、勉強をしているうちに、たくさんの就活仲間に出会うことも出来ました。1番初めに第1志望の企業に落ちたけれど、落ち込むこともあり

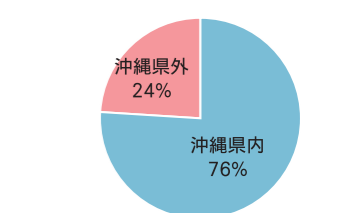
でしたが、その時に応援してくれた先生や職員の方、就活仲間の支えで、諦めずに内定を取るまで頑張ることが出来ました。今では、この経験があったからこそ、素晴らしい企業から内定を頂いたのだと思っています。

就職活動はとても辛いですが、その辛さや苦しみが自分の成長に繋がりますし、辛い時期と一緒に頑張ることが出来るのは、一生の宝になります。途中で投げ出さず、自分を信じて続けることが大切です！そうすれば必ず納得のいく結果を出すことが出来るはずです。後悔しないように今を大切に頑張ってください。

2011年度 業種別就職内定状況



2011年度 業種別就職内定状況



平成24年度 就職関係行事予定

4月	就職ガイダンス (就職マナー、面接について) 地方公務員、教員採用模擬試験 学内合同企業説明会
5月	学内合同企業説明会
6月	インターンシップ事前ガイダンス 学内合同企業説明会
7月	SPI対策講座
8~9月	インターンシップ(企業実習)
10月	就職ガイダンス 就職Web登録 SPI対策講座
11月	就職講演会 インターンシップ報告会 SPI能力模擬検査 就職模擬試験(一般教養)
12月	就職内定者体験報告会 学内業界リサーチセミナー
1月	インターンシップ報告会
2月	4年次就職内定者相談会 就職準備セミナー

平成24年度 キャリア支援年間講座等スケジュール

No.	講座名	説明会		募集期間	講座期間
		開催日	時間(予定)		
1	簿記3級対策講座 平成24年6月検定向	4/9(月)	16:20	4/9~4/16	4/20~6/5
	簿記3級対策講座 11月検定向	7/13(金)	13:30	7/13~7/27	9/25~11/13
	簿記3級対策講座 平成25年2月検定向	11/30(金)	13:30	11/30~12/14	1/8~2/19
2	話しことば検定2級・3級対策講座	4/13(金)	13:30	4/13~4/27	5/10~7/12
3	国内旅行業務取扱管理者対策講座	7/6(金)	13:30	7/6~7/20	10/9~11/30
		4/13(金)	13:30	4/13~4/26	5/8~8/28
4	色彩検定対策講座	4/13(金)	13:30	4/13~4/26	5/14~6/14
		7/13(金)	13:30	7/13~7/26	8/29~10/31
5	医療事務・医療事務コンピュータ講座	4/13(金)	13:30	4/13~4/26	5/7~7/19 (医療事務講座)
		7/13(金)	13:30	7/13~7/26	8/7~10 (医療事務コンピュータ講座)
6	秘書技能検定準1級・2級対策講座	4/13(金)	14:40	4/13~4/26	2級対策:5/11~6/8, 9/4~10/2
		7/13(金)	14:40	7/13~7/26	準1級対策:10/9~10/30
7	行政書士対策講座	7/13(金)	14:40	7/13~7/26	準1級面接対策:1/8・11or 15
8	行政書士対策講座	4/20(金)	13:30	4/20~5/11	5/24~10/29
9	宅地建物取引主任対策講座	4/20(金)	14:40	4/20~5/11	5/25~10/12
10	ファイリング・デザイン検定2級/3級対策講座	4/20(金)	13:30	4/20~5/11	6/11~9/3
		7/20(金)	13:30	7/20~8/3	10/15~H 2 5. 1/7
11	簿記2級対策講座 平成24年11月検定向	5/11(金)	13:30	5/11~5/25	6/11~11/5
		簿記2級対策講座 平成25年2月検定向	10/5(金)	13:30	10/5~10/19
12	簿記2級対策講座	5/18(金)	13:30	5/18~6/1	6/19~10/19
13	速読講座	6/29(金)	13:30	6/29~7/20	8/13~8/24
14	FP技能検定3級対策講座 (ファイナンシャル・プランナー)	1/18(金)	13:30	1/18~2/8	2/18~3/4
		6/29(金)	13:30	6/29~7/20	8/7~8/11
15	ホームヘルパー2級対策講座	6/29(金)	13:30	6/29~7/20	8/3~8/31
		7/6(金)	13:30	7/6~7/20	H25.3/1~3/29
16	介護事務講座	7/6(金)	13:30	7/6~7/20	8/6~18 他実習日あり
		1/25(金)	13:30	1/25~2/15	2/25~3/9 他実習日あり
17	福祉住環境コーディネーター2級対策講座	7/6(金)	13:30	7/6~7/20	8/27~8/31
		1/25(金)	13:30	1/25~2/15	3/4~3/8
18	ビジネス実務法務検定3級講座	7/6(金)	14:40	7/6~7/20	10/5~11/6
19	ビジネス実務法務検定3級講座	7/20(金)	13:30	7/20~8/3	10/12~12/4
20	公務員試験(H25年度向け)対策講座	9/28(金)	13:30	9/28~10/11	10/16~H25.6/17
21	社会保険労務士対策講座	11/2(金)	13:30	11/2~11/14	12/4~H25.8/20
22	パーソナルカラー講座				H25.3/4~3/6
22	カラーヒーリング講座	1/18(水)	13:30	1/18~2/8	H25.3/6~3/8
検定試験	販売士3級検定試験 (試験のみ)	試験:7/14(申込:5/28~6/20)、試験:2/20(申込:12/20~1/25)			
	販売士2級検定試験 (試験のみ)	試験:10/3(申込:8/17~9/7)			
	ビジネス能力検定(B検) 2・3級 (試験のみ)	試験:7/1(申込:4/2~5/11)、試験:12/2(申込:9/3~10月中旬)			
	法学検定試験 3級・4級 (試験のみ)	試験:11/18(申込:9/10~10/10)			
	秘書技能検定試験 2級・3級 (試験のみ)	試験:2/10(申込:12/3~1/10)			

資格取得者

秘書検定2級 学内講座受講生

合格



総合文化学部 日本文化学科3年次
那覇西高校出身
城間 いずみ (しるま いずみ)

私は、大学生のうちに社会に出ても慌てずに仕事をこなせる技術をも身につけてたくて秘書技能検定の講座を受講しました。秘書である講師から習うので、いろいろな体験談や実際に体験しながら学べるので独学するよりも確実に身についたと感じます。秘書技能検定という、秘書のための資格だから自分には関係ないと思う方もいますが、事務の仕事や一般常識なども学ぶので、社会に通用する資格だとわたしは思います。

講座は、週に最大で3回あり、時間も一日に3時間はハードなように思えますが、解説だけでなく質問タイムや自力で問題を解くなど受講生のペースに合わせて進むこともあったので、とても有意義に勉強ができました。

他にもたくさんの資格検定講座がありますので、2年次までにより多くの資格を取っておくと3年次から始める就活に大いに役立ちます。今だけしか自由な時間は取れないので、どんどんチャレンジしてみてください。

ITパスポート 学内講座受講生

合格



経済学部 地域環境政策学科4年次
名護高校出身
比屋根 良直 (ひやね よしなお)

私は、これまでに大学講義で学んできたパソコンやネットワーク、会社経営に関する知識の総復習としてITパスポートの資格取得を目指しました。しかし情報学部ではない私にとってITパスポートを独学で勉強するには不安があったため、基礎からしっかりと教わりたいと思い本学のITパスポート試験対策講座を受講しました。

ITパスポートはIT系の国家資格ということから情報学部以外の学部では取得が難しいというイメージがあるかもしれませんが、私たちが今後社会で求められるIT知識の入門的位置づけにある資格です。講座では広い出題範囲をカバーする為に教科書を中心に基礎を学び、豊富な過去問題、対策問題を解き、さらに実践的なテストを行うことで自分の実力を確認することができました。講座で勉強の進み具合の確認や苦手部分を見つけ、自分に合ったリズムでコツコツと勉強することがIT系の知識の乏しい私でも合格に結び付いた理由だと思います。

私は、大学生活は時間を工夫し積極的に行動することでたくさんの経験を得ることができると感じます。その一つとして今回の資格挑戦が挙げられますが、たとえ合格できなかったとしても、そこで得られた経験が自分にとって損になることは決してありません。是非、皆さんも興味がある資格取得にむけて挑戦してください。

第17回 学内日本語スピーチコンテスト

12月3日、留学生41人による「学内日本語スピーチコンテスト」が開催され、「中国の発展を暖かく見守って欲しい」、「南米の果実人としてのルーツが確認できた」、「軍隊訓練が活かすことのない平和な世界を願う」等々、多彩な内容で表現力が競われました。審査の結果、初級の部1位に(敬称省略)ボネ・セバスチャン(フランス)、中級の部1位に黄曉棋(中国)、2位に仲間清志(ペルー)、3位に鄭清娟(中国)、上級の部1位に周以靈(台湾)、2位に元泰勲(韓国)、3位に王鑫楷(台湾)が入賞しました。また、「会場が選ぶで賞」「ユーモア賞」他、数々の特別賞も授与され、熱気に包まれました。また、日本語教育副専攻課程の実習生も企画・運営・審査員等で参加し、国際色豊かなイベントとして盛り上がりました。入賞者の皆さん、おめでとうございます。



第6回 学内韓国語スピーチコンテスト

제6회 교내한국어말하기대회

12月9日、「第6回学内韓国語スピーチコンテスト」が行われました。今回は韓国語学習に力を入れている15人の学生がエントリーし、韓国人留学生たちのサポートを受けながらスピーチ練習に励みました。コンテスト当日は1部と2部に分かれ、出場者は多彩なテーマで磨き上げた韓国語の表現力を競い合いました。また、会場にはスピーチ内容の日本語訳も準備され、韓国語が全く分からない人でもスピーチを楽しむことができました。審査の結果、最優秀賞に上地翔子さん(英米2年)、優秀賞に岸本尚子さん(法律4年)、奨励賞にウォン・ガウェンさん(地文研2年)、特別審査員賞に屋我和泉さん(福祉4年)、努力賞に新垣望さん(日文2年)が選ばれました。入賞者には賞状と素敵な賞品が、また出場者全員にも学校オリジナルグッズと韓国海苔が参加賞として渡されました。応援して下さいました皆さん、ありがとうございました。第7回コンテストでまた会いましょう！ 또 만나요!^^



外国語センター

2012年度の主な行事

- ① 英語ブレースメントテスト
- ② International Plaza Lunchtime English
- ③ 語学検定対策講座:TOEFL, TOEIC, 英検(2級・準1級)、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、日本語、スペイン語
- ④ 語学検定試験の実施:TOEIC, 英検、韓国語、フランス語、ドイツ語、日本語、スペイン語
- ⑤ 学内スピーチコンテスト:英語、中国語、韓国語、日本語、琉球語
- ⑥ 夏期日本語学文化研修・展示会
- ⑦ CALLワークショップ
- ⑧ 短期留学生成果報告会・展示会(夏期・春期)
- ⑨ CALL講習会(夏期・春期)
- ⑩ 沖縄県高校生英語ホームページ・コンテスト
- ⑪ 英語合宿セミナー

国外留学

3週間の韓国文化体験

総合文化学部 日本文化学科3年次
知念高校出身

新垣 望(あらかき のぞみ)



私が参加した韓国語学・文化セミナーは、午前が語学、午後が文化の研修日程で、授業では個性的でフレンドリーな先生方のおかげで、もともと好きだった韓国語をさらに好きになることができました。授業の終わりには毎回宿題が出て、覚える単語も多く大変でしたが、取り組んだ分だけ着実に身につけていくことが実感でき、ルームメイトと切磋琢磨しながら学習することが何よりもすごく楽しく、全く苦にはなりません。

文化体験では、ビンパ作りやソウルツアーなど、様々な韓国の文化に直接触れることができました。中でも1泊2日のホームステイでは、韓国の一般家庭の生活を垣間見ることができ、授業で習った言葉を実際に使い、とても良い思い出を作ることができました。また、このセミナーには他府県からの学生も参加しているため、韓国だけでなく、日本人とも交流を深めることができました。あつという間のセミナーでしたが、観光するだけではできない経験を沢山させてもらい、充実した3週間を過ごすことができました。セミナーに参加したことで得たものが多すぎて、とても言葉に表すことができません。皆さんも是非参加してみてください。

フランスでの出会い

総合文化学部 英米言語文化学科4年次
コザ高校出身

豊平成実(とよひら なるみ)



パリからTGVで2時間半ほどの場所にあるレンヌが、私たちの留学の舞台となりました。学生都市であるレンヌには、国を問わず多くの学生が学んでいます。初めてのフランスに初めての一入暮らし。はじめはすべてが新しく、慣れることで精一杯でした。言葉が分からず手振り手振りで表現していた毎日から、単語ずつですがボキャブラリーも増え、友達との会話も弾むようになると、フランス語でのコミュニケーションができることに大きな喜びを感じるようになりました。

土曜日になるとマルシェで新鮮な野菜や果物を買ひ、日曜日にはゆったりとした時間を過ごす。時間にとらわれることなく過ごすことができました。

大学付属の語学学校ではフランス語を学ぶとともに、モン・サン・ミッシェルへの遠足など多くのアクティビティがあり文化や大自然を肌で感じることができます。演劇や合唱クラブ、ロックダンスなどの課外活動を通して、新しい自分を発見することができました。そこで出会った友達とのつながりも、私の1年に大きな変化をもたらしてくれました。自分の文化や考え方を受け入れてくれた友人の文化や考え方を受け入れていくことで絆が生まれ、言葉を通じてその国の文化を理解することで新たな扉が開かれるのだとこの留学を通して学ぶことができました。悲しいときや苦しいとき、もちろんうれしいときを、国や文化を超えて分かちあえる喜びは何にもかえることのできない素晴らしいことです。

私たちの留学には両親や友達の助け、沖国大のサポートがあったからこそ有意義な1年を送ることができました。国を離れて初めて知った人のあたたかさを、これからも忘れず、また私自身が誰かの助けとなれるようになりたいと思います。

国内留学

県外単位互換協定校

札幌学院大学 名城大学
京都学園大学 桜美林大学
熊本学園大学 松山大学

※協定校で履修した科目は年間40単位(4年間で60単位)までを限度に本学卒業単位として認定されます。

桜美林大学リベラルアーツ学群へ派遣

総合文化学部 英米言語文化学科3年次
浦添商業高校出身

棚原 伸一(たなはら しんいち)



震災直後に上京したこともあり、当初はとても不安な気持ちでいっぱいでした。講義も予定より1ヶ月遅れの開始となりましたが、桜美林大学の学生たちが優しく迎え入れてくれ、不安を吹き飛ばしてくれました。

桜美林大学は、コミュニケーションの講義に力を入れており、私自身「現代コミュニケーション論」や「集団コミュニケーション」などを受講しとても勉強になりました。講義以外でも軟式野球部に所属し、友人も多くでき、大変有意義に過ごす事ができました。

また、今回初めて一人暮らしを経験したのですが、何よりも親のありがたみを知る良い機会となりました。

国内留学は色々な事を経験できるチャンスだと思います。ぜひこの制度を活用して、多くの貴重な体験をして欲しいと思います。

第40回 卒業式

第14回 大学院修了式



第40回卒業式並びに第14回大学院修了式が3月16日午後1時より、本学講堂兼体育館で挙行政され、学部生1,268名、大学院生20名の計1,288名がそれぞれの目標や夢に向かって巣立っていきました。

富川盛武学長は式辞の中で「諸君は4年間あるいは2年間本学で勉学、研究を積んできました。各学科で体系立てられた学問を学び、社会で生きていく上で必要な『ソフィア(知恵)』を体得しました。希望を持ち、臆することなく、一歩前へ、そして前進を続けて下さい。

日本は今、未曾有の大地震からの回復の道中にあります。災難に直面し、再認識されたことは、科学への過信と人間の驕りを戒め自然と共生すること、人と人の「絆」が心を癒し、再生の土台となったこと、百年の大計で復興、発展を考えること等であります。

人類有史以来受け継いだ英知のエキスをカプセル錠剤にしたのが学問であり、知識を真・善・美追求の法則に則り立体的に組み立てたのが学問です。学問による知の構築がまず大事です。英知は平和と発展の源です。

世の中の災害、理不尽、不条理に対し悲観にくれてばかりはいられません。

若い諸君がチャレンジの一步を踏み出せば、必ず自分が変わり、世界が変わり、時代は変わります。否、変えなければなりません。

在学中に培った『ソフィア(知性)とエトス(心柱)』を具備して、社会で存分に活躍して頂きたいと思えます。卒業後も「知性と心の研磨」を怠らず、継続してください。」と述べ卒業生・修了生を激励しました。

卒業生を代表して産業情報学部企業システム学科の天久夏希さんは「振り返れば4年前、これから始まる大学生活に不安や楽しみ、期待で胸をいっぱいにして入学したのをつい昨日のこのように覚えています。大学生として過ごしてきた時間は有意義で、勉強や大学祭、球技大会を通して大きく自己成長ができたと言えるでしょう。

本日をもって私たちは沖縄国際大学を卒業します。これからは大学で得た多くのものを糧にし、今後さらに学問の道に進む者も、実社会において職業上の目的に向かう者もいます。それぞれ自分の人生の中で、夢や希望に向かってチャレンジし日々研鑽を積み、物事を成し遂げていく力が求められます。しかし、私たちはまだまだ未熟であり、今から学ぶべ

きこともたくさんあります。そのような中で大きな壁にぶつかり、失敗することもあるかと思えます。その時は皆様から温かいアドバイス、厳しいご指導を頂きながら自己を高め一歩ずつ前に進んでいけたらと思っておりますので、卒業後もこれまでと同様に温かいご支援、ご鞭撻をよろしく願いたします。

新しい道へ進むにあたり、社会人としての自覚・責任感を持ち、正しい判断力で物事を見極めていかなければなりません。これからも自分でできる最大限の努力をし、目標に向かって、より一層、日々精進を心がけてまいります。そして、今日まで私たちを支えてくださいました、諸先生方や、職員の皆様、家族に心からお礼を申し上げ、沖縄国際大学のさらなる発展を心より願います。」と答辞を述べました。



答辞を述べる天久夏希さん(読谷高校出身)

学生表彰

総合文化学部長賞

総合文化学部 日本文化学科卒業
韓国・東亜高等学校出身

宋 承 勲
(そん すんぶん)

日本語母語話者ではないにも関わらず、総合文化学部において恒常的にトップの学業成績を修め、特待生として選出されるなど、その学問に対する真摯な姿勢は多くの学生及び留学生の模範となるものである。また、一般学生及び留学生との交流においても韓国と沖縄を結ぶ架け橋として大きな役割を果たした。

産業情報学部長賞

産業情報学部 産業情報学科卒業
糸満高校出身

玉 城 元 之
(たまき もとゆき)

産業情報学部において、学業に加え資格取得にも積極的に取り組み、国家Ⅱ種(裁判所事務官)に現役で合格した。



卒業生からのメッセージ



地域産業研究科
地域産業専攻
兵庫県立加古川東高校出身

中 森 え り
(なかもり えり)

私は社会人学生で、10年以上前に学部を卒業した時、ちょうど大学院が開校されたので1期生として入学しました。しかし、その頃仕事が忙しくなり、結局単位だけ修得して退学してしまいました。あきらめたわけではなくいつか時期が来たらと思いつつ、仕事に専念する日々を経て、なんと10年経って一念発起し、再入学手続きを取りました。仕事をしながらの論文執筆は、やはり大変でしたが、指導教授の温かくかつ厳しく、辛抱強い指導のおかげでなんとか修了することができました。私の場合は自分の仕事に関連するテーマでもあり、今までの職業生活の集大成として修士論文を完成できたことは大きな喜びです。学業に年齢はありません。学びたい時がその時だと思えます。若い現役学生も若くはないが人生経験のある社会人学生も、一緒に学べるのが大学院生活の魅力です。多くの方にチャレンジしてほしいと思います。



総合文化学部
日本文化学科卒業
具志川高校出身

宮 城 松 吾
(みやぎ しょうご)

私の学生生活は、いろんなチャンスと出会い、そこにチャレンジしていく4年間でした。

大学とは、自分が興味を持つもの、好きなことに対して行動する場所であり、勇気を出して手を挙げ、声に出せば、自分を支えてくれる多くの仲間、先生、職員の方々に出会える、チャンス溢れる場所です。新入生の皆様は、この4年間で多くのチャンスを生かして、自分の夢を実現し、次のステージへと力強く進んで欲しいです。

夢や目標は高く見えないこともありますが、1年で遠いなら2年、3年と積み重ねることで、きっと今の自分より数倍も目標に近い自分になっていると思います。

皆様の、これからチャンス溢れる4年間で、夢を実現する価値のある時間になることを心より願っています。



法学部
法律学科卒業
小禄高校出身

玉 城 織 絵
(たまき おりえ)

私は、沖国大で過ごした4年間の大学生活で、勉学だけでなく、たくさんのかげがえの無い「仲間」を得ました。それは、私にとって一生の財産となりました。そのきっかけとなったのがストリートダンスサークルのOkikoku Street Style Family、『OSSF』でした。このサークルメンバーは、私にとってまさにFamilyでした。お互いダンスを通して繋がり、意見を持ち熱くなれる仲間と、色んな事に共に感じ、ぶつかり合い、そこから学びお互いを理解しあう。そうやって共に成長してきたFamilyと作り上げる沖国祭でのダンスイベントは、言葉では表せない程素晴らしいものでした。そんなOSSFも今年で結成6年目になります。この仲間達と出会い・成長することができた場所、沖国大にいたことを私は誇りに思います。新入生の皆さんにも、これから始まる大学生活で、かけがえのない何かが見つかることを、私は心から願っています。そして、これから4年間、大いに楽しんでください。

平成23年度 卒業生数・修了生数

学部卒業生数

学 部	学 科	男	女	合 計
法 学 部	法 律 学 科	77	47	124
	地 域 行 政 学 科	88	37	125
経 済 学 部	経 済 学 科	87	38	125
	地 域 環 境 政 策 学 科	88	41	129
産 業 情 報 学 部	企 業 シ ス テ ム 学 科	64	66	130
	産 業 情 報 学 科	97	35	132
総 合 文 化 学 部	日 本 文 化 学 科	34	85	119
	英 米 言 語 文 化 学 科	33	86	119
	社 会 文 化 学 科	34	53	87
	人 間 福 祉 学 科	50	128	178
合 計		652	616	1268

9月卒業生数

男	女	合 計
3	0	3
1	0	1
4	1	5
5	0	5
2	2	4
3	0	3
2	1	3
1	2	3
2	0	2
2	1	3
25	7	32

大学院修了生数

研究科名	専攻名	男	女	合 計
地域文化研究科	南 島 文 化 専 攻	1	6	7
	英 米 言 語 文 化 専 攻	0	0	0
	人 間 福 祉 専 攻	0	4	4
地域産業研究科	地 域 産 業 専 攻	0	2	2
法 学 研 究 科	法 律 学 専 攻	4	3	7
合 計		5	15	20

9月修了生数

男	女	合 計
0	1	1
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	1	1

第41回入学式における学生表彰



【後援会長賞】

総合文化学部 英米言語文化学科4年次
興南高校出身

喜友名 諒 (きゆな りょう)

第55回全日本学生空手道選手権大会の男子個人形にて優勝(学生日本一)、第39回全日本空手道選手権大会においても準優勝の快挙を成し遂げました。現在、全日本強化選手として選出されるなど今後の活躍が期待されます。



空手道部の喜友名諒君(写真左)

【校友会長賞】

総合文化学部 日本文化学科2年次
首里高校出身

久場川 愛莉 (くばがわ あいり)

第28回NHK全国大学放送コンテスト(文部科学省後援)における「朗読部門」にて第1位を受賞。コンテストは、課題作品として「夜のピクニック(恩田陸原作)」が与えられ、参加者各自(155名)が場面を選び、朗読するという形式で実施されました。発音の適切さと感情表現の豊かさ、みずみずしさが認められての受賞となりました。



放送研究部の久場川愛莉さん

学生インタビュー



産業情報学部 企業システム学科4年次
那覇高校出身

国吉 美咲 (くによし みさき)

「Manatea(マナティ)アパレル通販」を立ち上げた国吉美咲さんにインタビューを行いました。

国吉さんは、沖縄県内送料無料の「Manatea/マナティアパレル通販」を立ち上げ、若者をターゲットに衣服、ファッション雑貨やアクセサリなどを、リーズナブルな価格で販売しています。

沖縄国際大学を志望した理由

中学生の時に株や投資についての本を読むようになり、自分でお金を生み出せることを知り経営に興味を持つようになりました。大学では経営を勉強したいと考え、沖縄国際大学の企業システム学科に入学しました。現在は、原田先生や河田先生、宮森先生に大変お世話になっています。学科の講義が、直接自分のビジネスに役立っている事が実感できます。

マナティ設立のきっかけと活動の様子

友人から「通販で服を購入したいが、送料が高いので一緒に買おう」と誘われ、「沖縄で手に入らないものを通販で買うのに、沖縄は送料が高い。沖縄で送料無料の通販があってもいいのでは」と思ったのが設立のきっかけです。

パソコンに詳しいわけでは無かったので、1ヶ月ほどかけてサイトの作成方法や通販のシステムなどを勉強し、情報収集を行いました。もともと中国の卸業者と取引をしていたが、粗悪品ばかりでとてもお客さまに提供できるものではなく、業者の選定ではかなり苦労をしました。現在は、日本の卸業者と取引をおこなっており、レディースとメンズ、それぞれ約100点の商品を扱っています。大学周辺のカフェで、直接お客様に品質を確認して購入できるイベントも開催しています。

将来の夢は

将来は、海外も視野に入れて活動をしていきたいと考えており、色々な事に興味があるので、アパレルだけでなく、教育など他の分野にもどんどん関わっていきたくと思っています。卒業後は企業に勤めて、マーケティングの仕事をして経験を積みたくです。

後輩たちへのメッセージ

自分の意見を持つという事が大切。今ある環境で何ができるかを考え、その中で最善を尽くすことが重要だと思います。

4年間を振り返って—少子化への対応—



少子化の大波が本学にも着実に到来する中で、この4年間で最も力を入れてきたのは志願者獲得である。経営政策室を通じて県内の高校卒業生数を推計し、高校別の志願者数、専門学校等との競合等、情報を収集、分析し入試広報等の戦略を練ってきた。2009年には2学科で募集定員を満たせず、緊張した。しかし、教員、



前 理事長・学長
富川 盛武

職員の努力によって翌年は回復したことが印象深い。

逆風の中で対応するには「沖縄国際大学にあれば何が出来るか、何になれるか」という本学の魅力(コア・コンピタンス)を構築し、受験生、保護者をはじめ社会に発信することであろう。

本学の学生は「つらいこと、いやなことに耐え、社会に適応する力つまり、人間力、発展力があり、社会に出てから成長、飛躍する

人が多い」と社会から評価されており、これこそが比較優位である。卒業生は地元の金融、流通、サービス業、教員、公務員等の分野でリーダーとして活躍している。とりわけ、市町村の首長、議員は他を席巻している。いわゆる地元の屋台骨を担う人材が多く輩出され、沖縄国際大学なくしては沖縄の社会は成り立たないと評されるに至っている。

本学は、「地域に根ざし、世界に開かれた大学」を標榜し、沖縄の発展に貢献するためにアジアの十字路に位置する沖縄のポテンシャルを活かし、万国津梁の魁となる人材を育成し、沖縄の個性を発揮させる研究・地域連携を行うことを謳っている。人間力を基に知識とコミュニケーション能力を身につけ、ローカル及びグローバルの複眼的視点から、事象、現象を理解し、問題解決ができ、時代を切り開ける人材を育成していくことが抜本的な少子化対策であろう。

百年後も沖縄国際大学が存続、発展していることを願っている。

沖縄県内初の人工芝施工多目的グラウンド完成



昨年11月1日より改修工事を行い、このたび全天候型多目的グラウンドが完成しました。沖縄県内では初となる人工芝施工の多目的グラウンドです。メインフィールドにサッカー、ラグビー用人工芝を舗装、両サイドのインフィールドにはフットサル用の人工芝を舗装、トラックにはウレタンを舗装しました。ホームストレート側アウトフィールドには「OKINAWA INTERNATIONAL UNIVERSITY」と本学のネームを施しています。



サッカーフェスティバル開催

3月10日には、本学創立40周年記念学生交流事業「サッカーフェスティバル」が行われました。小学生チームによるジュニアサッカー、小禄高校と名護高校の女子サッカー部によるなでしこマッチ、那覇・南部と中北部選抜による高校選抜試合、海邦SCと本学サッカー部によるナイターの試合など、小学生から社会人まで楽しめる盛りだくさんの内容となりました。



第35回宜野湾市交通安全キャンペーン市内一周駅伝大会に参加



1月28日、交通事故防止をアピールすることを目的とした第35回宜野湾市交通安全キャンペーン市内一周駅伝大会が行われました。

今大会には55チームのエントリーがあり、本学からも教職員チームが参加しました。交通安全をPRしながら、チームが一丸となり力走し、結果は8位と健闘しました。

大会運営をサポートしてくださった大会関係者の皆さま、沿道から温かい声援をくださった皆さま、誠にありがとうございました。

沖縄国際大学は、今後も交通安全を広く呼びかけ、地域行事へ積極的に参加していきたくと考えております。



臨床心理士資格試験に10名が合格



1月12日、平成23年度臨床心理士資格試験合格者が、富川盛武学長を訪問し、合格の報告を行いました。

臨床心理士とは、日本臨床心理士資格認定協会が認定している資格で、小・中・高校でのスクールカウンセラーや病院など様々な分野で活躍が求められている資格です。

本学からは、本学大学院地域文化研究科人間福祉専攻「臨床心理学領域」の修了生12名が受験し10名が合格しました。全国平均はおおよそ60パーセントの合格率の試験ですが、今回本学の合格率は83.3パーセントという高い合格率となりました。平成22年度修了生については、全員合格の快挙です。



学内人事

退職者教職員紹介 (平成24年3月31日)

- ① 勤務年数
- ② 主な担当科目

教育職員

総合文化学部
英米言語文化学科
教授
大下 祥枝
(おおした よしえ)

① 40年 ② フランス語、ヨーロッパ研究、フランス文学特論

沖縄国際大学創立当初から今日まで40年間勤めさせていただき、いろいろと貴重な経験を積むことができました。これも偏に周囲の皆様のおかげとご厚情の賜物と、心から感謝申し上げます。皆様のご健勝と大学のますますの発展をお祈りいたします。

教育職員

産業情報学部
産業情報学科
教授
廣瀬 牧人
(ひろせ まきと)

① 17年 ② データ解析論、産業連関論、政策過程の数量分析

震災の余震燻る神戸を後にして、早や17年。人生最大の变革期を沖縄で過ごしました。温かさや暖かさに、感謝あるのみです。ご厚情を賜った皆さんの今後に亘るご活躍を祈念致します。

教育職員

沖縄法政研究所専任所員
法学部
教授
大山 盛義
(おおやま せいぎ)

① 10年 ② 消費者法

大変お世話になりました。沖国大での素晴らしい思い出を糧としながら頑張っていこうと思います。

学内人事

採用教職員紹介 (平成24年4月1日)

- ① 最終学歴
- ② 主な担当科目

教育職員

法学部
法律学科
講師
伊達 竜太郎
(だて りゅうたろう)

① イリノイ大学ロースクール修了(LLM)・筑波大学大学院博士課程単位取得退学(商法)
② 会社法、手形・小切手法、基礎演習、専門演習
会社法などを担当します。皆さん、一緒に勉強して、自分の新たな可能性を高めていきましょう。どうぞよろしくお祈りいたします。

教育職員

経済学部
地域環境政策学科
准教授
上江洲 律子
(うえず りつこ)

① 大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位修得退学 ② フランス語Ⅰ・Ⅱ、基礎演習、ヨーロッパ研究Ⅰ・Ⅱ
他者というべき「フランス」を1つのフィルターとして、自分自身や世界の在り方について、一緒に考えていきましょう。よろしくお祈り致します。

教育職員

産業情報学部
産業情報学科
講師
田口 順等
(たぐち のぶひと)

① 大阪府立大学大学院経済学研究科博士後期課程修了 博士(経済学) ② 産業連関論、データ解析論など
新しい環境のもと教育・研究・校務など本学の発展のために精励し、皆様のご期待に添うよう努力いたします。今後ともよろしくお祈りいたします。

教育職員

法学部
法律学科
准教授
坂本 達也
(さかもと たつや)

① 4年 ② 会社法、手形・小切手法

本学の皆様より平素より心温まるご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。本学での貴重な経験につきまして末永く深く感謝いたします。皆様のご清祥と本学のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

教育職員

総合文化学部
英米言語文化学科
准教授
山本 直子
(やまもと なおこ)

① 5年 ② 英米小説概論、イギリス文学史

皆様に温かいご支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます。沖縄国際大学の益々のご発展をお祈りいたします。

事務職員

総務部会計課
副参事
岸本 和伸
(きしもと かずのぶ)

① 44年6月(うち再任用4年)

私は、創立40周年の節目まで働くことができました。教職員の協力やご指導があったからと思います。皆様には心から感謝申し上げます。大学のさらなる発展を祈念します。

事務職員

教務部学務課係員
美里 将太
(みさと しょうた)

① 沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科卒業

創立40周年の節目に母校の職員になる事ができ大変嬉しく思います。学んだ事を還元し、母校の発展のために頑張ります。宜しくお願い致します。

事務職員

教務部研究支援課
沖縄法政研究所
研究支援助手
石川 朋子
(いしかわ ともこ)

① 沖縄国際大学大学院地域文化研究科修士課程修了

設立15周年を迎える沖縄法政研究所の、一層の発展のために、微力ながらお役に立てよう、努めて参りますので、よろしくお祈り致します。

事務職員

教務部研究支援課
沖縄経済環境研究所
研究支援助手
照屋 武志
(てるや たけし)

① 沖縄国際大学大学院地域産業研究科修士課程修了

私の名前は照屋武志と申します。大学、大学院と6年間お世話になった学舎の発展のため寄与していきたいと思っております。よろしくお祈り致します。

事務職員

教務部研究支援課
沖縄経済環境研究所
研究支援助手
喜舎場 梢
(きしゃば こずえ)

① 3年

三年と短い期間でしたが、研究所で多岐にわたる業務があり、皆様には多くのご助言・ご指導を賜りました。心より感謝申し上げます。

事務職員

教務部研究支援課
産業総合研究所
研究支援助手
仲村 篤
(なかむら あつし)

① 3年

短い期間でしたが、大変貴重な時間を沖国大で過ごすことができました。皆様のご健闘と大学の益々の発展をお祈りいたします。

事務職員

教務部学務課
福祉・ボランティア支援室
社会福祉実習助手
比嘉 大輔
(ひが だいすけ)

① 3年

学部・院、社会福祉実習助手として沖縄国際大学で皆様のご指導の下、福祉に関われた事を感謝し、更なる飛躍をお祈りいたします。

事務職員

教務部研究支援課
産業総合研究所
研究支援助手
高嶺 直
(たかみね なおし)

① 沖縄国際大学大学院地域産業研究科修士課程修了

中小企業支援や地域づくりの研究・実践を通し、地域発展に貢献できるようにがんばりたいと思います。

事務職員

教務部研究支援課
南島文化研究所
研究支援助手
儀間 淳一
(ぎま じゅんいち)

① 沖縄国際大学大学院地域文化研究科修士課程修了

これまでの職務経験をいかして、地域と大学の橋渡しとできるよう頑張りますので宜しくお願い致します。

事務職員

教務部学務課
福祉・ボランティア支援室
社会福祉実習助手
見城 育夫
(けんじょう いくお)

① 専修大学経営学部経営学卒業

実習およびボランティア体験が、本学で学ぶ「理論」と実地での「実践」の統合の場となりうるべく力を尽くしていきたいと考えております。

退職・退任

(退職・教育職員：3月31日付)

職名	氏名	勤続年数
総合文化学部英米言語文化学科教授	松田 節子	26年
総合文化学部社会文化学科教授	江上 幹幸	13年

※但し、特任職員・教授として引き続き本学にて勤務

(退任・教育職員：3月31日付)

役職名	氏名	職名
副学長	照屋 寛之	法学部教授
常務理事	廣瀬 牧人	産業情報学部教授
産業情報学部長	大城 建夫	産業情報学部教授
地域文化研究科長	山入端 津由	総合文化学部教授
地域産業研究科長	大城 保	経済学部教授
教務部長	小西 由浩	法学部教授
学生部長	村上 了	経済学部教授
図書館長	兼本 敏	総合文化学部教授
情報センター所長	大井 肇	産業情報学部教授
沖縄法政研究所所長	大山 盛義	法学部教授
沖縄経済環境研究所所長	新垣 勝弘	経済学部教授
産業総合研究所所長	宮 正樹	産業情報学部教授
南島文化研究所所長	上原 静	総合文化学部教授
福祉・ボランティア支援室室長	安次富 郁哉	総合文化学部教授

併任等・昇任・配置換

(併任等・教育職員：4月1日付)

役職名	氏名	職名
法学部長	前津 榮健	法学部教授
経済学部長	名城 敏	経済学部教授
産業情報学部長	宮森 正樹	産業情報学部教授
地域文化研究科長	保良 昌徳	総合文化学部教授
地域産業研究科長	佐久本 朝一	産業情報学部教授
教務部長	新垣 武	経済学部教授
学生部長	山入端 津由	総合文化学部教授
図書館長	原田 優也	産業情報学部教授
情報センター所長	鷗池 幸雄	産業情報学部教授
沖縄法政研究所所長	小西 由浩	法学部教授
沖縄経済環境研究所所長	梅井 道生	経済学部教授
産業総合研究所所長	俞 炳強	産業情報学部教授
南島文化研究所所長	田名 真之	総合文化学部教授
福祉・ボランティア支援室室長	岩田 直子	総合文化学部教授
外国語センター所長	李 イニッド	総合文化学部教授
心理相談室室長	上田 幸彦	総合文化学部教授

(昇任・教育職員：4月1日付)

新職名	氏名	旧職名
法学部教授	吉次 公介	法学部准教授
法学部教授	末崎 衛	法学部准教授
法学部准教授	野見 収	法学部講師
産業情報学部教授	池宮城 尚也	産業情報学部准教授
産業情報学部准教授	河田 賢一	産業情報学部講師
産業情報学部准教授	丸山 友希夫	産業情報学部講師
総合文化学部教授	井村 弘子	総合文化学部准教授
総合文化学部准教授	平山 篤史	総合文化学部講師
総合文化学部准教授	石垣 直	総合文化学部講師
総合文化学部准教授	福島 賢二	総合文化学部講師

(配置換・教育職員：4月1日付)

新配置部署職名	氏名	旧職名
経済学部経済学科准教授	崎浜 靖	総合文化学部南島文化研究所准教授

(配置換・事務職員：4月1日付)

新配置部署職名	氏名	旧職名
総務部会計課課長補佐	高石 由美子	図書館図書課課長補佐
総務部管財課係員	有銘 恵吾	教務部学務課係員

創立40周年記念に伴う寄付者一覧

2012年3月15日現在(順不同・敬称略)

No.	寄付者	No.	寄付者
1	沖縄銀行	19	沖縄県労働金庫
2	NTTデータ九州	20	久貝隆廣
3	スポーツテック/和広 代表取締役 高松保雄	21	宮平寛
4	沖縄国際大学校友会 沖縄銀行支部	22	財団法人 沖縄県私立教育振興会 理事長 池田光男
5	沖縄銀行人事部長 川満正人	23	鹿児島国際大学
6	沖縄銀行 顧問 仲吉朝信	24	松川美代子
7	棚原健次	25	清村英夫
8	育英義塾教員養成学院 学院長 福本佳香	26	知念勝雄
9	株式会社アストロ 取締役社長 木村進	27	名幸宏
10	京都学園大学	28	野国清
11	中村学園 理事長 中村量一	29	嘉数自治会 会長 伊波健
12	日本私立大学協会 九州支部	30	我如古自治会 会長 島袋清
13	熊本学園大学	31	宜野湾区自治会 会長 仲村清
14	広島修道大学	32	上大謝名自治会 会長 大城ちえ子
15	松山大学	33	知念仁照
16	多和田淑子	34	大謝名団地自治会 泉川智枝子
17	日本福祉大学	35	野嵩二区自治会 会長 新城清子
18	安仁屋政昭	36	沖縄国際大学校友会

I. 事業計画の基本方針

各年度の事業計画は、「中長期経営計画」（第1次及び第2次中長期経営計画を含む。以下同じ。）との整合性を図りながら、新規事業及び各年度の重点事業を明示するものである。

従って、単年度の事業計画は、「中長期経営計画」に倣い、大きく「個別構造計画」と「個別業務計画」の2部に分かれて構成されている。「個別構造計画」では中長期的な大学運営の基本方針を示し、「個別業務計画」では「個別構造計画」の実現に必要な各年度の重点的な業務活動を掲げている。

平成24年度事業計画においても、これら計画策定の意義と構成を厳守している。

なお、本学の財政状況の今後について、楽観的な想定を許す社会経済的要因がないことから、所要経費の見積もりには当たっては、単なる過去からの慣習的踏襲を可能な限り排するなど、単純増分（減分）主義や予算獲得最大化行動を厳に戒め、費用の最小化を画しながら、本学の持続的な発展を図る上で必要にして十分な事業を計画することを基本的な策定方針としている。

II. 個別構造計画

1. 学生中心主義の実践
2. キャンパス整備の計画履行
3. 学生募集対策強化と中期広報戦略の実践展開
4. エコアクション21（EA21）の推進

III. 個別業務計画

1 教育・研究に関する事業

- (1) 学生広報サポーターの充実
- (2) 組織的FDの推進
- (3) 教養教育・共通科目のあり方
- (4) 自己点検・評価活動の継続的実施
- (5) ティーチング・アシスタント(TA)及びスチューデント・アシスタント(SA)制度の活用促進
- (6) 教員免許状更新講習の実施
- (7) 対外的なボランティア支援窓口の充実
- (8) 総合研究機構所蔵図書登録・管理運用
- (9) 第11回三大学院共同シンポジウムの開催

2 情報化に関する事業

- (1) 情報教育及び研究環境関連基盤整備
- (2) 情報ネットワーク及び情報セキュリティ対策関連基盤整備
- (3) 業務運営効率化支援

- (4) 本学ウェブサイト情報の一元化及び多言語化の推進
- (5) 全学的アナログ情報のデジタル移行作業への着手
- (6) 電子ジャーナル及びオンラインデータベースの導入推進
- (7) AVホールの機能強化

3 国際化に関する事業

- (1) 国外協定校との交流
- (2) 国外協定校の発展的見直し
- (3) 本学留学制度の海外への周知拡大
- (4) 留学期間中の危機管理体制の強化

4 学生サービスに関する事業

- (1) 学生アパート借り上げ
- (2) 「なかゆくいルーム」（仮称）の整備
- (3) 学生が憩える空間の整備充実
- (4) 奨学金制度の充実
- (5) 大学院学生の研究活動に対する支援
- (6) 県外就職サポートセンターの導入
- (7) 就職活動理解・支援に関するリーフレット作成
- (8) 教員採用試験（教職教養）対策講座
- (9) 海外インターンシップ参加学生への補助金

5 法人業務に関する事業

- (1) 事務職員のキャリア形成の強化
- (2) 県外広報活動の充実
- (3) 沖国大UI (University Identity) プロジェクト事業
- (4) 危機管理体制の整備充実

6 環境・施設設備に関する事業

- (1) 環境への取り組み
- (2) 5号館外壁等改修工事
- (3) 第5駐車場（借地）の購入（平成24年度新規）

IV. 財政計画

1. 予算編成の基本方針

デフレ・不況が長引く中、大学を取り巻く経済環境は依然として厳しい状況で推移している。

入学定員充足率が100%未満の学校数は、平成22年度の569校中218校（38.3%）から、平成23年度には5校増えて572校中223校（39.0%）となり（平成23年7月26日日本私立学校振興・共済事業団発表）、大学の淘汰・再編を促す社会的・経済的情勢にはますます拍車が掛かっている。

大学は教育の場であり人材育成を通じて社会に貢献する

ことが使命である。専門分野の研究に邁進するとともに、教育や人材育成にその成果を還元することにより、学生や保護者が「学生中心主義」を実感し得る大学、という視点を再認識することが必須の課題となっている。

また、地域に根ざした大学として、本学がその社会的責務を安定的・持続的に果たしていくためには、確固たる財政基盤の確立を期すとともに、短期及び中長期に亘る財政計画に基づく財政運営を図ることが極めて重要な課題となっている。

これらの教学及び財政面の課題を踏まえ、平成24年度

予算を次の基本方針に沿って編成する。

- (1) 収支均衡の財政運営を図る。
- (2) 借入金に依存しない財政運営を図る。
- (3) 自己資金が調達できる限度内で施設設備の投資を行う。
- (4) 各課の経常予算要求額については、中長期経営計画及び過去3年間の決算額の平均額を勘案し精査する。
- (5) 環境負荷を軽減する仕組みを構築し、省資源、省エネルギーを推進する。
- (6) 40周年記念事業及びキャンパス整備方針に連動した財政措置を講じる。

平成24年予算(概要)

本学予算は、文部科学省令「学校法人会計基準」に拠って作成されたもので、資金収支予算（資金運用の状態）と消費収支予算（経営維持の状態）の2種類からなっています。平成24年度予算（収入、支出の見積）資金収支予算および消費収支予算の概要は下表のとおりです。

平成24年度予算

◆資金収支予算

資金収入の部				
科目	平成24年度予算	平成23年度予算	増	減
学生生徒等納付金収入	4,685,089,000	4,697,653,000	△	12,564,000
手数料収入	73,703,000	73,569,000		134,000
寄付金収入	48,370,000	48,370,000		0
補助金収入	479,295,000	469,835,000		9,460,000
資産運用収入	67,872,000	67,872,000		0
資産売却収入	0	0		0
事業収入	12,439,000	15,054,000	△	2,615,000
雑収入	158,661,000	52,264,000		106,397,000
借入金収入	0	0		0
前受金収入	2,079,013,000	2,046,433,000		32,580,000
その他の収入	1,267,709,000	1,323,725,466	△	56,016,466
資金収入調整勘定	△ 2,227,448,000	△ 2,016,829,115		△ 210,618,885
前年度繰越支払資金	10,841,339,402	10,704,178,780		137,160,622
収入の部合計	17,486,042,402	17,482,125,131		3,917,271

◆消費収支予算

消費収入の部				
科目	平成24年度予算	平成23年度予算	増	減
学生生徒等納付金	4,685,089,000	4,697,653,000	△	12,564,000
手数料	73,703,000	73,569,000		134,000
寄付金	50,770,000	50,770,000		0
補助金	479,295,000	469,835,000		9,460,000
資産運用収入	67,872,000	67,872,000		0
資産売却差額	0	0		0
事業収入	12,439,000	15,054,000	△	2,615,000
雑収入	158,661,000	52,264,000		106,397,000
帰属収入の部合計	5,527,829,000	5,427,017,000		100,812,000
基本金組入額	△ 474,891,000	△ 468,554,849		△ 6,336,151
消費収入の部合計	5,052,938,000	4,958,462,151		94,475,849

資金支出の部				
科目	平成24年度予算	平成23年度予算	増	減
人件費支出	2,824,545,000	2,678,682,000		145,863,000
教育研究経費支出	1,291,276,000	1,282,555,000		8,721,000
管理経費支出	242,526,000	253,886,500	△	11,360,500
借入金等利息支出	12,300,000	16,100,000	△	3,800,000
借入金返済支出	100,000,000	100,080,000		△ 80,000
施設関係支出	154,708,000	215,230,000	△	60,522,000
設備関係支出	250,183,000	260,834,000	△	10,651,000
資産運用支出	733,628,000	736,128,000	△	2,500,000
その他の支出	1,140,656,000	1,200,215,209	△	59,559,209
予備費	40,000,000	40,000,000		0
資金支出調整勘定	△ 290,328,000	△ 142,924,980		△ 147,403,020
次年度繰越支払資金	10,986,548,402	10,841,339,402		145,209,000
支出の部合計	17,486,042,402	17,482,125,131		3,917,271

消費支出の部				
科目	平成24年度予算	平成23年度予算	増	減
人件費	2,849,075,000	2,665,788,000		183,287,000
教育研究経費	1,781,742,000	1,728,856,000		52,886,000
管理経費	281,058,000	288,898,500	△	7,840,500
借入金等利息	12,300,000	16,100,000	△	3,800,000
資産処分差額	5,297,000	5,297,000		0
予備費	40,000,000	40,000,000		0
消費支出の部合計	4,969,472,000	4,744,939,500		224,532,500
当年度消費収入超過額	83,466,000	213,522,651		
当年度消費支出超過額	0	0		
前年度繰越消費収入超過額	4,201,266,216	3,987,743,565		
翌年度繰越消費収入超過額	4,284,732,216	4,201,266,216		

寄付者一覧

対象期間：平成23年3月1日～平成24年2月26日（敬称略）

No.	日付	寄付種別	寄付者	金額	備考
1	6月20日	特別寄付	仲宗根仁史(本学職員)	20,000円	学生サポート奨学金
2	6月22日	特別寄付	沖縄国際大学校友会	3,550,000円	奨学資金、備品費及び海外インターンシップ補助等
3	7月11日	特別寄付	沖縄国際大学後援会	44,570,000円	奨学資金、施設費等
4	9月14日	特別寄付	有限会社文正堂	50,000円	第13回沖縄県高校生英語HPコンテスト
5	11月2日	特別寄付	株式会社アイアム	20,000円	第13回沖縄県高校生英語HPコンテスト
6	12月8日	特別寄付	チエル株式会社沖縄営業所	100,000円	第13回沖縄県高校生英語HPコンテスト
7	12月20日	特別寄付	株式会社オーシーシー	20,000円	第13回沖縄県高校生英語HPコンテスト
8	12月27日	特別寄付	池田光男(本学後援会会長)	50,000円	学生サポート奨学金

2012(平成24)年度 入学者選抜試験結果(学部)

	A O			推薦入試			特別入試(前・後期)			一般入試(前期)			一般入試(後期)			センター利用入試(前期)			センター利用入試(後期)			志願者数	合格者数	倍率	編入学(前・後期日程)		
	志願者数	最終合格者数	倍率	志願者数	合格者数	倍率	志願者数	合格者数	倍率	志願者数	合格者数	倍率	志願者数	合格者数	倍率	志願者数	合格者数	倍率	志願者数	合格者数	倍率				志願者数	合格者数	倍率
法律	78	41	1.90	68	56	1.21	-	-	-	86	49	1.76	17	4	4.25	59	34	1.74	10	3	3.33	318	187	1.70	2	2	1.00
地域行政	107	40	2.68	62	55	1.13	-	-	-	79	58	1.36	15	6	2.50	33	32	1.03	12	4	3.00	308	195	1.58	4	3	1.33
経済	53	42	1.26	48	47	1.02	5	5	1.00	96	55	1.75	15	6	2.50	60	32	1.88	12	4	3.00	289	191	1.51	5	5	1.00
地域環境	105	42	2.50	66	58	1.14	2	1	2.00	61	47	1.30	12	7	1.71	58	35	1.66	7	3	2.33	311	193	1.61	7	7	1.00
企業システム	115	40	2.88	72	59	1.22	3	2	1.50	75	43	1.74	13	6	2.17	41	33	1.24	12	3	4.00	331	186	1.78	10	6	1.67
産業情報	94	40	2.35	58	56	1.04	4	3	1.33	80	55	1.45	12	11	1.09	33	17	1.94	10	9	1.11	291	191	1.52	6	6	1.00
日本文化	81	46	1.76	48	48	1.00	5	5	1.00	52	36	1.44	19	11	1.73	53	37	1.43	11	7	1.57	269	190	1.42	1	0	0.00
英米言語	126	45	2.80	76	60	1.27	9	8	1.13	109	46	2.37	20	9	2.22	68	32	2.13	17	4	4.25	425	204	2.08	11	11	1.00
社会文化	62	30	2.07	41	40	1.03	2	2	1.00	46	30	1.53	15	8	1.88	46	28	1.64	14	3	4.67	226	141	1.60	2	2	1.00
人福：福祉	49	30	1.63	30	30	1.00	3	1	3.00	42	39	1.08	5	6(2)	1.25	36	36	1.00	7	6	1.17	172	148(2)	1.18	4	4	1.00
人福：心理	103	27	3.81	62	37	1.68	1	1	1.00	76	23	3.30	20	5	4.00	53	28	1.89	11	2	5.50	326	123	2.65	11	7	1.57
合計	973	423	2.30	631	546	1.16	34	28	1.21	802	481	1.67	163	79(2)	2.12	540	344	1.57	123	48	2.56	3266	1949(2)	1.68	63	53	1.19

注：倍率 = 志願者数 / 合格者数 (小数点第3位四捨五入)

注：人間福祉学科(社会福祉専攻)合格者数の()については、第2志望での合格者内数となる

注：人間福祉学科(社会福祉専攻)の一般入試(後期)倍率については、第2志望合格者数()を除いた数字となる

注：平成24年3月14日現在、繰上・追加合格者数は未確定のため合格者数には含まない。

2012(平成24)年度 大学院入学試験 志願者数・合格者数

区分	志願者数							合格者数					
	推薦	一般	外国人	社会人	出願資格審査	合計	推薦	一般	外国人	社会人	出願資格審査	合計	
研究科・専攻	南島文化専攻	6	1	1	3	0	11	6	0	0	2	0	8
	英米言語文化専攻	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	人間福祉専攻	4	26	0	15		45	2	8	0	3		13
地域産業研究科	8	1	0	2		11	8	1	0	2		11	
法学研究科	1	3	0	10	1	15	0	3	0	4	1	8	
総合計	20	31	1	30	1	83	17	12	0	11	1	41	